

Anniversary 100th

ひかり

「生徒一人ひとりが太陽輝く学校」

～三商定時制課程だからできる 夢の実現～

スクールミッション

思いやりと規範意識をもった社会性豊かな人間、社会貢献する人間、個性と創造力豊かな人間の育成を教育目標とし、基本的人権を尊重した望ましい集団生活や基礎的・基本的な学習、すぐれた伝統を継承することを通じて、心身の調和のとれた発達と個性の伸長に努め、社会に役立つ知識・技術を習得し、自ら主体的に思考判断する生徒を育成します。

教育目標

- 1 生徒一人一人の基本的人権を尊重し、望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長に努め、健康の増進を図るとともに、思いやりと規範意識を持った社会性豊かな人間を育成する。
- 2 基礎的・基本的な学習を通じて、社会に役立つ知識・技術を習得させ、地域社会の一員として、産業の発展や文化の向上など社会に貢献する人間を育成する。
- 3 すぐれた伝統を継承するとともに、自ら主体的に思考・判断する態度を育て、個性と創造力豊かな人間を育成する

1. 目指す学校像

- (1) 生徒の人権を尊重しつつ、基本的な生活習慣を確立し、個性の伸長に努め、豊かな人間性の育成と健康の増進を図る。
- (2) 基礎学力を身に付けさせ、生徒一人一人の能力や適性を引き出し、主体的に判断し行動できる資質や能力の育成を図る。
- (3) わが国の経済社会を担う人材を育成するため、ビジネスに関する基本的な知識と技術を習得させるとともに、専門性の深化を図る。
- (4) 地域貢献活動や地域連携活動により、健全育成を図るとともに、魅力ある商業高校として、地域に愛され、深く信頼される学校として教育活動の充実を図る。
- (5) 国際化が進むわが国の経済社会の変化に適合していくため、体験的な活動により異文化理解をすすめる、グローバル化に対応していく文化的な素養を高揚させる。

2. スクール・ポリシー

(1) グラデュエーション・ポリシー

- ①社会において必要となる、基礎的・基本的な学力を身に付けた生徒。
- ②商業高校で学んだ証として、検定職業資格3級以上を複数種類取得した生徒。
- ③自らすすんで自己の進路（就職・進学）を切り開いていくことのできる生徒。

(2) カリキュラム・ポリシー

- ①学習や学校行事、部活動を通して、自ら考え行動できる明るい誠実な生徒。
- ②簿記やワープロなど、積極的にビジネスに関する検定職業資格3級以上を取得する生徒。
- ③自己の個性を伸ばすとともに、他人を尊重し思いやりをもつことのできる生徒。

(3) アドミッション・ポリシー

- ①意欲をもって、日々の学習や学校行事、部活動などに取り組むことのできる生徒
- ②簿記やパソコンなどの商業の学習に興味をもち、粘り強く学習することのできる生徒
- ③学校や社会のルールやマナーを守り、学校生活を送る意欲をもった生徒

本校定時制課程は、健康で勤労を尊び、良識ある社会人の育成を目指し、生徒一人ひとりの人権を尊重しながら、心身ともに健全な人物の育成を図っている。
この理念を踏まえ、日常の教育活動の充実を図りつつ、生徒の満足、保護者の信頼、地域からの応援、教職員のやりがいを実現できる学校づくりを次のとおり推進していく。

観点	中期的目標と方策	今年度の教育活動の目標と方策	重点目標及び方策
学校経営・組織体制	<p>(1) 都立高校学校経営指標に基づいた学校経営を推進し、全教職員が学校の課題を共有するとともに、組織的・協働的な学校運営の推進により、「誰一人取り残さないきめ細やかな教育」の実現を図る。</p> <p>(2) 教職員のライフ・ワーク・バランスの推進を図るとともに、執務ガイドラインを活用して各分掌業務の整理・効率化を進め、PDCAサイクルによる継続的な改善を通して、課題解決型の校務運営の実現を図る。</p> <p>(3) 教員の指導力向上を図るため、OJT 診断基準を活用するとともに、職員研修や職員会議等を通じた OJT 推進に取り組み、組織的な支援体制を構築することで、学校の教育力及び組織力の質的向上を図る。</p> <p>(4) 教職員間の円滑な情報共有と連携を推進し、生徒理解の深化を図るとともに、教育相談体制の充実を通じて、生徒一人ひとりに寄り添った指導体制の確立を図る。</p>	<p>(ア) 「生徒指導提要」及び「チャレンジサポートプラン」に基づく生徒指導の充実を図り、生徒一人ひとりの状況に応じた支援を推進するとともに、不登校や中途退学の未然防止及び早期対応に組織的に取り組む。</p> <p>(イ) 計画的かつ系統的な学習指導を実施するとともに、各種検定の活用を通して基礎・基本の定着を図り、生徒の学習意欲の向上に努める。</p> <p>(ウ) 授業観察及び授業研究を通して、教員の指導力及び授業力の向上を図るとともに、生徒の実態に応じた授業改善を推進する。</p> <p>(エ) 計画的な業務遂行により校務の効率化を推進するとともに、業務内容の見直しや ICT の活用を通して、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。</p> <p>(オ) 生徒等の個人情報情報を適切に管理・運用するため、「保有個人情報安全管理基準」等の関係規定を遵守するとともに、教職員の服務規律に関する意識の向上を図り、服務事故の未然防止及び根絶に努める。</p>	<p>(あ) 中学校段階の学習内容の学び直しを通して、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るとともに、選択科目及び学校設定科目の内容について検証と改善を行い、生徒の実態に応じた教育課程の充実を図る。</p> <p>(い) 学校の特色及び生徒のニーズを明確に反映した教育内容の充実を図るため、教育課程に関する調査研究を進めるとともに実施に向けた教育課程の編成に取り組む。</p> <p>(う) 学校運営連絡協議会との連携を図り、学校運営上の課題の共有を進めるとともに、課題解決に向けた見直しや具体策の構築に取り組む。</p> <p>(え) 体罰及び不適切な指導の禁止について教職員への周知を徹底するとともに、服務に関する研修等を実施し、適切な指導の徹底を図る。</p> <p>(お) 教科「人間と社会」の充実を図るため、外部講師を活用し、体験的・実践的な学習活動を推進する。</p> <p>(か) 長期休業期間中における計画的な校内研修及び教職員研修センター等での研修への参加を通して、学習指導力及び生徒指導力の向上を図る。</p> <p>(き) 授業研究及び研究協議を計画的に実施し授業改善を通して授業力の向上を図る。</p> <p>(く) 学校運営連絡協議会及び生徒による授業評価の結果を活用し、継続的な授業改善を推進する。</p> <p>①体罰等、不適切な指導を含む服務事故 0件 ②学習活動における外部講師指導実施 15時間以上</p>
学習指導	<p>(1) 基礎・基本の充実を図り、社会生活に必要な知識・技術を習得させるとともに、ビジネスに関する資格取得の推進を図る。</p> <p>(2) 教育活動が円滑に推進できるよう、生徒の学習環境の整備を図る。</p> <p>(3) 授業や学校行事等における一人1台端末の効果的な活用を推進する。</p> <p>(4) 各教科における自己評価、学校運営連絡協議会における学校評価及び生徒による授業評価アンケート等を活用して授業改善を図り、分かりやすく生徒の意欲が高まる授業を追究する。</p> <p>(5) 生徒や保護者、地域の期待に応えるため、教職員の組織的対応力を高め、課題に誠実に対応するとともに、服務の厳正を図る。</p> <p>(6) さまざまな価値観を尊重し、多様な人々と協力・連携して課題に取り組む姿勢を育むとともに、日本人としての自覚を持ち、広い視野と柔軟な国際感覚を養うことを目指す。</p> <p>(7) 生徒の実態に応じた学び直しを推進し、基礎学力の確実な定着を図る。</p>	<p>(カ) 「生徒自らが学びたい授業」の実践を促進するため、既習事項を活用し、基礎・基本の確実な定着を図る。</p> <p>(キ) 主体的な学習態度を育成し、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。</p> <p>(ク) 基本レベルの資格取得や一般教養試験を奨励する学習指導を実施する。</p> <p>(ケ) 地域の社会課題を活用し、「課題研究」の学習内容を充実させる。</p> <p>(コ) 特別な支援を必要とする生徒に対し合理的配慮を行いながら生徒一人一人の個性の伸長を図る。</p> <p>(サ) ICT 機器や一人1台端末を有効に活用しデジタルリテラシーを高めながら学習指導を展開する。</p> <p>(シ) 生徒の実態に応じた学び直しを推進し、基礎学力の確実な定着を図る。</p> <p>(ス) 学習状況の把握と評価の工夫を通して、生徒一人一人の理解度に応じた指導の充実を図る。</p> <p>(セ) 学習成果の発表活動等を通して、自分の考えを的確に表現する能力の育成を図る。</p>	<p>(け) 「アクティブ・ラーニング」の視点に立った学習指導や、生徒同士の教え合いや討議等、さまざまな授業形態の工夫を行う。</p> <p>(こ) 生徒のニーズや実態に応じて学習到達目標を設定し、単元及び1時間ごとの授業のねらいを明確にして少人数の利点を生かした授業を通して基礎学力の定着を図る。</p> <p>(さ) 一人1台端末を活用し、情報活用能力の向上を図る。</p> <p>(し) 各教科及び教科横断的なアプローチにより、一般教養への理解と関心を育む。</p> <p>(す) 計画的に補習・補講や面談を実施し、学習内容の確実な定着に努める。</p> <p>(せ) 商業科目への学習意欲を高め、生徒全員が検定3級以上の合格を目標とする。</p> <p>(そ) 授業規律の確立に努め、規範意識の向上を図る。</p> <p>(た) ビジネスに必要な基本的な知識・技術を定着させ、学習成果の発表の場を活用して、自分の考えを効果的に伝える能力の向上を図る。</p> <p>(ち) 特別な支援が必要な生徒に対して、基礎的内容の定着状況を把握し、個別指導の充実を図る。</p> <p>(つ) 生徒の実態に応じた学び直しを推進し、基礎学力の確実な定着を図る。</p> <p>①簿記検定3級以上合格者 延べ15名以上 ②文書デザイン3級以上合格者 延べ20名以上 ③表計算検定3級以上合格者 延べ20名以上 ④ワープロ検定3級以上合格者 延べ20名以上 ④授業外補習・補講の実施 延べ80時間以上</p>
生活指導・健康づくり	<p>(1) 家庭との連携を強化し、きめ細かい指導により、生徒に自覚と責任をもたせ、周囲への気遣いなど基本的生活習慣や授業規律を確立する。</p> <p>(2) 地域と連携した教育活動を展開し、学校で学んだ知識や技術の活用を図り、ビジネス社会に通用する実践的な資質や能力を育成する。</p> <p>(3) 学校給食を教育活動の一環として位置付け、食育を通して、生涯を通じた健全な食生活の実現や健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や知識を身に付けさせる。</p> <p>(4) 感染症予防を徹底し、日常より生徒の健康と安心・安全を第一とした教育活動を推進する。</p> <p>(5) 学校行事を通して、生命を尊重した教育を実施し、自己肯定感を高め、自殺防止に資する教育を推進する。</p>	<p>(ソ) 都立学校生活指導指針に基づき、全教職員による組織的な生活指導体制を構築し、生徒情報の共有を徹底する。</p> <p>(タ) 第三次いじめ総合対策に基づき、日常的な生徒観察を行い、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応に努める。</p> <p>(チ) 給食の時間を通して、食生活におけるマナーや円滑なコミュニケーション力を育て、人間関係形成力の向上を図る。</p> <p>(ツ) スクールカウンセラー等と連携し教育相談体制の充実を図るとともに、SOSの出し方に関する指導及び相談先の周知を徹底する。</p> <p>(テ) 生徒が主体的に自己の生活習慣を改善できるよう、健康管理の指導を徹底する。</p> <p>(ト) 地域の関係機関と連携した避難訓練や防災教育を実施し、緊急時の対応力の向上を図る。</p>	<p>(て) 生徒の基本的生活習慣やマナーの確立を図るため、「挨拶」「身だしなみ」「時間を守る(遅刻・無断欠席)」「話を聞く態度」「環境整備」等について、組織的な指導を行う。</p> <p>(と) グループエンカウンター等の活用や家庭との連携を強化し、生徒の生活状況や交友関係の把握に努めるとともに、出席率の向上及び中途退学の防止を図る。</p> <p>(な) スクールカウンセラー等と連携し、教育相談体制の充実を図るとともに、学校いじめ対応委員会における情報共有を通して、特別な支援や配慮が必要な生徒への支援を推進する。</p> <p>(に) セーフティ教室等を活用し、登下校時の通学マナーや安全に行動できる資質・能力の育成を図る。</p> <p>(ぬ) 給食指導や禁煙指導等を通して、望ましい生活習慣の形成を図るとともに、食育及び健康教育の充実を努める。</p> <p>①生徒転退学率 5%以内 ②学校通信発行回数 12回以上 ③安全・健康に関する講演指導 10回以上</p>
進路指導	<p>(1) キャリア教育全体計画を策定し、将来の自分自身の生き方を考えさせるとともに、各種調査や計画的・系統的な資格取得に向けた指導を充実させ、継続的な進路指導を推進する。</p> <p>(2) 関係諸機関との連携を通じて、生徒に奉仕活動等の体験の機会を提供し、社会性を育むとともに、望ましい職業観や勤労観を育成する。</p> <p>(3) 生徒一人一人の進路希望や適性に応じた個別指導を充実させ、進路未決定者を減少させるとともに、進路実現率の向上を図る。</p> <p>(4) 就業体験等を通して、社会との関わりを深め、主体的に進路を選択する態度を育成する。</p>	<p>(ナ) キャリアガイダンスを計画的・系統的に実施し、生徒に将来の自分自身の生き方を考えさせ、目標を明確にした進路指導をおこなう。</p> <p>(ニ) 進路指導部と学年・教科が連携し、実務的なキャリア能力を育成する。</p> <p>(ヌ) これまでに取得した資格を生かした進路指導を充実させ生徒個々の進路決定に生かす。</p> <p>(ネ) 東京グローバル人材育成指針に基づき、英語コミュニケーションスキルを高めさせ、創造的・論理的思考力を育成する。</p> <p>(ノ) 進路未決定者に対して、個別面談や関係機関との連携を通して継続的な支援を行い、進路決定率の向上を図る。</p>	<p>(ひ) 過去の進路情報を基に4年間を見据えた進路指導を実施するため、キャリア教育全体計画を確立し、ハローワーク及び進路指導部・担任・各教科が連携した組織的な進路指導を推進する。</p> <p>(ふ) 「キャリアガイダンス」やインターンシップ等を活用するとともに、ジョブサポーターと連携し、ビジネスマナーやコミュニケーション能力を育成し、キャリア形成能力や進路意識の向上を図る。</p> <p>(へ) 進路相談体制の充実を図り、生徒一人一人の進路希望や実態に応じた指導を行い、進路実現を図る。</p> <p>①ハローワーク(ジョブサポーター)との連携 10回以上 ②外部講師を活用したキャリア教育の実施 5回以上 ④4年生の進路決定率 100% ③就職希望者内定率 100%</p>
特別活動等	<p>(1) 学習と特別活動の両立により、豊かな人間性の育成と個性の伸長を図るとともに学校への帰属意識、連帯感、達成感等を高めさせる。</p> <p>(2) 生徒会を中心に、生徒一人ひとりが主体的に学校行事を運営し、達成感や成就感を高めさせる。</p>	<p>(ハ) 4年間を見通したホームルーム指導計画の策定し、特別活動の充実を図る。</p> <p>(ヒ) 生徒会や生徒の委員会組織を活性化させ生徒一人ひとりが主体的に活躍できる場を提供する。</p> <p>(フ) 「TOKYO ACTIVE PLAN for Students」を参考に、健康の保持・体力の向上に関する取組の充実を図り、意識向上に努める。</p>	<p>(ま) 生徒主体による運営を推進し、達成感、帰属意識及び連帯感の向上を図る。</p> <p>(み) ホームルームや学校行事を通して、社会性や豊かな人間性を育み、自主性及び自律性の向上を図る。</p> <p>(む) 部活動の環境整備を図り、各種大会への参加を促進する。【</p> <p>①学校行事出席率 80%以上 ②部活動加入率 80%以上 ③部活動大会参加 1回以上</p>
募集・広報活動	<p>(1) 本課程の教育活動を地域、中学生及び保護者等に積極的にPRし、本課程で学びたいと希望する生徒の確保を図る。</p> <p>(2) 中学校訪問等の募集対策活動を充実させ、本課程の特長を積極的にPRし、入学希望者における適正な倍率の確保を図る。</p> <p>(3) 学校ホームページや学校案内等の広報媒体の充実を図り、本課程の教育活動や特色を継続的に発信する。</p>	<p>(ヘ) 意図的・計画的な広報活動を実施し、地域及び中学生の本課程への関心を高める。</p> <p>(ホ) 授業公開や学校説明会を通じて、夜間定時制で学ぶ意義や本課程の魅力を発信し、入学希望者の増加に努める。</p> <p>(マ) 学校ホームページや学校案内等の広報媒体を活用し、教育活動や学校の特色を積極的に発信する。</p>	<p>(め) 行事予定や生徒様子を、ホームページなど多様な広報手段を通じて積極的に発信する。</p> <p>(も) 授業公開、学校説明会、中学校訪問、ホームページ等募集活動の改善と充実を図る。</p> <p>【数値目標】</p> <p>①中学校訪問 60校以上 ②授業公開・体験入学来場者数 20名以上 ③入学希望者応募倍率 1.0倍以上</p>